

シニアフェロー就任に際して



シニアフェロー  
西田 隆仁

入社以来、30 有余年、そのほとんどをガスケットの開発・研究に従事してまいりました。そうした活動の中でも、ガスケットの非石綿化は、最大の技術転換点であったと考えられます。ガスケットは長い歴史の中で、使用実績こそが信頼性の全てでした。様々な物性評価は、製造工程の確かさを保証しても、ガスケット自身の機能を保証するものとはなっていませんでした。しかし、非石綿化では、実績に代わる本来的な機能保証が必要となりました。バルカーは、企業理念の一つに“独創的技術”を掲げ、寿命予測までも含めた機能保証技術に先鞭をつけ、新たな製品をもって、高い信頼を提供し続けています。このたびシニアフェローに就任するからは、こうしたバルカー独自の独創的技術により一層の磨きをかけ、“社会の発展のために”、日本のみならず、中国をはじめとする、アジア諸国のシール技術の発展にも寄与していきたいと考えています。

フェロー就任のご挨拶



フェロー  
高牟礼 辰雄

76 年入社以来、運動用シール（パッキン）の研究開発に従事し、産業機械、建機、自動車などの油空圧分野で、新製品の開発に携わってきました。ゴム材料を主体に、樹脂、金属、セラミックなどの材料、油、空気、水などの流体を用いて、高圧から真空、高温から低温まで、シールの実際を体験致しました。

この間、社団法人フルードパワー工業会のシール分科会で、委員及び主査として活動し、シール製品の材料、形状・寸法、ハウジング、性能評価などの標準化に携わり、JIS の改正、制定に参画して参りました。特に、JIS が ISO との整合性を保つ作業においては、団体規格を含め、シール関連の先輩方が制定した規格にこめられた思いを押し量りながら、整備を行いました。

このような体験を基に、新人事制度のフェローとして、社会的な貢献と共に原点の探求を行い、当社のブランド価値の向上に努める所存です。

\*「フェロー制度」は昨年平成20年10月1日に制定、運用を開始しました。本制度はシニアフェローと、フェローの二階層からなります。